

1. 1868年の江戸幕府滅亡・明治国家成立による日本の近代的変革。 1
2. 社会の在り方（生活・考え方）が、合理的・民主的になること。 2
3. 明治6（西暦1873）年に結成された啓蒙思想団体。森有礼（もりありのり）の発議、福沢諭吉などが参加。日本最初の学術団体。 3
4. **PERSON** 明治の代表的啓蒙思想家。豊前（大分県）中津藩の下級武士出身で、反封建制度を主張。 4
5. 福沢諭吉の説く、基本的人権。ロック（18C、英の政治学・哲学者）の自然権に由来。 5
6. 福沢諭吉の説く、実学（数理学中心で、社会・人文科学も含む近代西洋諸科学）の教養が必要であるとする人間論。18C、英の功利主義に由来。 6
7. 福沢諭吉が、日本の近代化のために摂取が必要であるとした西洋の学問（近代合理主義的なもの）の呼び名。「漢学」を「虚学」として退けた。 7
8. 福沢諭吉の説く、近代的個人の確立が日本を列強に伍する国にする（「一身独立して一国独立す」）とする精神。 8
9. 福沢諭吉が晩年に唱えた、近代化が遅れているアジア諸国から離れて西洋諸国の仲間入りをすべきとする思想。 9
10. **PERSON** 明治の啓蒙思想家・政治家で、ルソーの思想に大きな影響を受けてそれを紹介したことから、「東洋のルソー」と呼ばれる。 10
11. **BOOK** 中江兆民が、ルソー（18C、仏の啓蒙思想家）の『社会契約論』の主要部分を翻訳し解説。人民主権を説き自由民権運動の思想的土台になる。 11
12. 明治10年代（1870年代後半～80年代）に、国会開設や租税軽減・不平等条約改正などの政治改革を要求した運動。藩閥政府の専制的政治批判。 12
13. 中江兆民の説く民権確立に関する造語で、「上から」（政府主導）による人民の政治参加等の諸権利のこと。 13
14. 中江兆民の説く民権確立に関する造語で、「下から」（民間自立）の革命によって勝ち取った自由・平等の権利のこと。英・米・仏の民権。ただし、日本では恩賜的民権を育てて実質をこの民権にすることを主張した。 14
15. **BOOK** 中江兆民の主著で、洋学紳士（民主主義者）と豪傑君（侵略主義者）と南海先生（改良主義者）の三人に、後進近代国家日本の独立・発展について論じさせたもの。 15

T. Q. 「諭吉と兆民の啓蒙思想の違いとは？」

T. A.

福沢諭吉は反封建や功利主義的人間論で人間の平等を説き、個人や国家の独立を主張したが、軍国主義の神秘的・狂的なナショナリズムとは違って現実主義的なナショナリズムであった。中江兆民はルソーの『社会契約論』を翻訳し、人民（「平等な国民」の意味）主権を主張して、恩賜的民権を恢復的民権に育てるのが大切であるとした。